

# 国家財政の見える化委員会開催

## 第10回 国家財政の見える化委員会

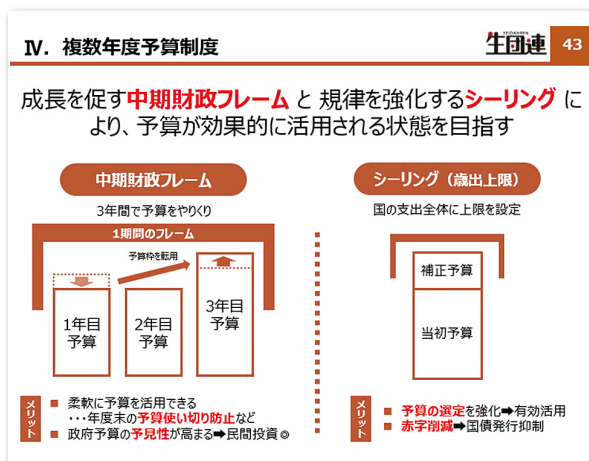
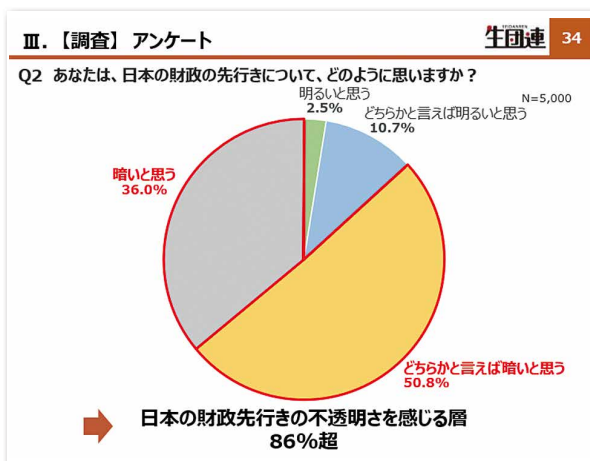
2023年10月30日(月) 13:00~14:30 会場(東京都港区高輪3-23-17 AP品川 アネックス)& オンライン開催

第10回 国家財政の見える化委員会を開催し、今年度の活動進捗状況と今後の活動の方向性について報告・議論を行いました。

本委員会では、「3カ年複数年度予算制度」及び「独立財政機関」の提言に関する調査結果や5,000人を対象とした国民アンケートについて報告を行い、提言の内容や制度実現に向けた今後の進め方などについて議論を行いました。

また、1月19日(金)に開催したシンポジウムのテーマや講師について意見交換を行いました。

その他、所得税減税や防衛費・少子化対策予算といった国民的関心事について報告を行い、今後も引き続き、テーマを選定して調査、及び報告を行うことが決議されました。



### 【出席者のご意見(一部抜粋)】

- 複数年度予算制度のシーリング機能を活用しながら無駄な予算の削減を進めていくべき。同時に何が無駄であるか考える必要がある。雇用の創出や困窮者支援といった、より必要な分野に対して、予算が十分に回っていないように感じる。
- 財政破綻によって、最悪の場合は国民の資産が差し押さえられることを考えると、政府の都合に左右されない財政運営を目指す独立財政機関は必要。
- 国民アンケートの結果にて、国民の財政に対する理解度の低さが明確になり、課題が顕在化した。学校教育で国家財政について学ぶ機会がないことは問題だと思う。今回計画しているシンポジウムを通じて、少しでも多くの人に財政に対する問題意識を持ってもらう必要がある。
- 財政問題へ取り組むにあたって、社会保障問題は切っても切り離せない。世代間格差を生む難しい問題ではあるものの、生団連として調査・発信をしてもよいのではないかと。